

キッズフェスティバル

からの

てがみ

教会のおともだちへ

2022年7月17日 No.2

あついね！プールに入って楽しんでますか？いよいよ始まる夏休み、いろいろな出来事を通して神さまからのメッセージを感じることができるでしょう。どんな時でもどんな場所でも、神さまがいつもいっしょにいてくださることや守っていてくださることがうれしいね。神さまは、わたしたち一人ひとりのことをいつも考えてくださっています。「あなたがたの笑の父は、これらのものがみなあなたがたに必要なことをご存じである。」(マタイによる福音書6章32節)

キッズフェスティバルより

ヨナ (今までのお話)



むかしむかし、ユダヤの国に、ヨナと言う名前の青年がいました。

ヨナは体は元気でしたが、少しやる気がなくて、少しズルい人でした。

その頃のユダヤの国は、戦争中で、みんなが苦しんでいました。

ある日、ヨナは礼拝に行きました。神様が、一人一人の心の中に語りかけて

くださる言葉に、耳を傾けるのです。ヨナは今まで、神様の声を聞いたことがあ

りませんでした。突然、心の中で、大きな声が聞こえました。

「ヨナよ！お前は二ネベの町に行くのだ！行って私の言葉を伝え、戦争をやめさせるのだ！」

ヨナは怖くなって礼拝堂から逃げ出しました。とうとう港までやってきました。ヨナはそこにとまっていた

船に乗り込み、一番底にある小さな部屋に飛び込みました。これで神様から逃げられたと思ったヨナは、

安心して眠ってしまいました。しばらくして、大変な嵐がやってきました。ヨナは、神様の言うことを聞

かなかった自分のせいだと思いました。ヨナは船員たちに正直に今までのことを話しました。すると、船員

たちは「何てことをしたんだ！お前のせいじゃないか！」と怒りだしました。ヨナは船員たちの怒りを静め

ようと「自分が命をかけて神様にお祈りすれば、この嵐もおさまる。」と言いました。船員たちはヨナを

海へ放り込みました。ヨナがおぼれて沈みそうになった時、「ヨナ！大丈夫だ。私がお前を助ける！」

という神様の声が聞こえました。

ヨナは「神様、ありがとう…」と、溺れ

ながらも手を合わせてお祈りしようと

しました。その時、目の前に巨大な

魚が現れました。ヨナはサカナに食べ

られてしまいました。



ヨナは目を覚ましました。周りは、暗くて、ぬるぬるしていて、臭くて蒸し暑いです。

「どこだ？ここは。」だんだん頭がはっきりしてきて、今までのことを思い出してきました。ヨナは巨大な魚に食べられました。そうです、ここは魚のおなかの中だったのです。

「ひえー！魚に食べられるー！」もう、食べられているのですが…。

「神様、助けてください！私を魚の中から出して下さーい！」ヨナはひざまずいてお祈りしました。必死になってお祈りしました。こんなにまじめにお祈りしたことは今までありません。頭に浮かんだお祈りの言葉や、バラバラに覚えている聖書の言葉を、全部使ってお祈りしました。いっぱいいっぱいお祈りしました。何時間もお祈りしました。けれども、神様は何も仰いません。そのうち、ヨナは落ちついてきました。そうしたら思い出しました。魚に食べられる前に、神様が心の中に語りかけた言葉を。

「ヨナ！大丈夫だ！私がお前を助ける！」
なんだか少し安心しました。いつの間にか、ヨナは眠っていました。…目を覚ましました。多分、次の日の朝でしょうが、魚のお腹の中なので時間が分かりません。ヨナはお腹が空きました。すると、急にザバーっと水が入ってきました。その水の中に、小さな魚が一杯いました。巨大な魚が、食べたのでしょうか。ヨナはその中の一匹を取って、ガブリとかじってみました。新鮮でおいしいです。ヨナは次々と魚を食べました。お腹はいっぱいになり、大満足です。だんだん、魚のお腹の中も悪くないと思えるようになりました。暗いとは言え、ぼんやりと光があります。臭いとはいえ温かいです。魚は意外と静かに泳いでくれるので、小さく揺れるのが心地よいです。ヨナは少しご機嫌になっ

てきました。その内、眠たくなって眠ってしまいました。…目を覚ましました。多分三日目です。ヨナは今までのことを振り返って、考えてみました。じーっと考えていると、こんなことが心に浮かんできました。

「僕は…神様に守られているんだ。」嵐の中でも魚のお腹の中でも、大変でしたが、無事に過ごすことができました。神様の声を聞いて町の中を逃げているときも、急いで船に乗った時も、危ない目にはあいませんでした。またそれまでも、今までちょっとサボって、ちょっとズルしながら生きてきましたが、それでも楽しく元気に暮らすことができました。自分はずーっと神様に守られてきたんだ、と思うと、心が嬉しくなってきました。そして神様から逃げたことが申し訳なくなってきました。

「神様の言うことには従うこと。」礼拝堂で聞いた言葉は本当でした。ヨナはお祈りしました。「神様、どんな苦しい時でも、いつも私を守ってくれてありがとう。私はこれから神様の仰ることに喜んで従います。」その時、心の中の、遠くの方で、声が聞こえました。

「魚よ、ヨナを陸に立たせなさい。」
ヨナの目の前が急に明るくなりました。魚が口を開けたのです。魚のお腹の中がウニっと動き、押し出されるようにヨナの体が外に出ました。そこは、明るく、きれいで、静かな陸地でした。ヨナは魚のお腹から出ました。魚はゆっくりと海に戻っていきました。

(次号へ続きます。お楽しみ！)



せいしょクイズ

〈せいしょなぞなぞクイズ〉 なぞなぞだよ！わかるかな？

1. 二つ^{ふた}食^たべるとおなかいっぱいになる、主^{しゅ}イエスが^たく^{もの}だ^{もの}さ^たつた^た食^たべ^{もの}物^は？
 2. キリストが飼^かっていた^{どうぶつ}動物^はリス。では救^{すく}い^{ぬし}主^かが飼^かっていた^{どうぶつ}動物^は？
 3. どん^{ちい}なに^{あな}小^{かんたん}さな^{とお}穴^ぬでも^{おも}簡^{おも}単^{おも}に^{おも}通^{おも}り^{おも}抜^{おも}ける^{おも}こと^{おも}ので^{おも}き^{おも}ると^{おも}思^{おも}わ^{おも}れ^{おも}て^{おも}い^{おも}る^{おも}動^{おも}物^は？
- ヒント どん^{おも}な^{おも}重^{おも}荷^{おも}を^{おも}負^{おも}わ^{おも}せ^{おも}ら^{おも}れ^{おも}て^{おも}も^{おも}辛^{おも}く^{おも}な^{おも}い^{おも}っ^{おも}て。
4. 地^ち図^ずに^くの^くつ^くて^くい^くない^く国^は？

〈わたしは だれ？〉

イエスさまがお^うま^まれ^まにな^まった^ま時^ま、最^と初^とに^と拝^とみ^とに^とき^とた^との^とは^とだ^とれ^と？

1. 博^は士^{かせ}たち
2. 羊^{ひつじ}飼^かいた^かち
3. 町^{まち}の^ひ人^とたち

答^{こた}え^{こた}は^{こた}次^{つぎ}の^{つぎ}ペ^{つぎ}ー^{つぎ}ジ^{つぎ}に^{つぎ}あ^{つぎ}り^{つぎ}ま^{つぎ}す^{つぎ}。

わくわくさんび ♪ ヨナは預^{よげん}言^{しゃ}者^者 山崎^{やまざき}てつや 作^{さく}詞^し・作^{さく}曲^{くわく}

プレイズワールド／いのちのことは社

右^{みぎ}の^{みぎ}QR^{みぎ}コ^{みぎ}ー^{みぎ}ド^{みぎ}から^{みぎ}
You^{みぎ} Tube^{みぎ} に^{みぎ}
ア^{みぎ}ク^{みぎ}セ^{みぎ}ス^{みぎ}し^{みぎ}て^{みぎ}
一^{いっ}緒^{しよ}に^{しよ}う^{しよ}た^{しよ}っ^{しよ}て^{しよ}ね^{しよ}！



お知らせ

コロナ禍のため、2020年から対面での「キッズフェスティバル」が実現していませんが、**2023年4月29日（祝・土）**に対面で行う予定です。
子どもたちの元気な笑顔に会えるのを楽しみにしています。なお、実行委員会では、今年の秋頃から準備を始めます。どうぞご協力下さい！

教会につながる皆さんへ

子どもたちにとって、キリスト教教育はいかに大切か

どうぞ 信仰の継承について 一緒にお考えください

「子供たちをわたしのところに來させなさい。妨げてはならない。神の国はこのような者たちのものである。」(ルカ 18:16)と聖書には記されています。教会は、イエスさまに倣って子どもたちを受けとめ、子どもたちが将来に向かって成長していく手助けをする必要があります。キリスト教信仰を子どもたちに伝えることは、神さまから私たち大人に託された大切な働きであり、教会が果たすべき責任であると言えます。

では、なぜキリスト教を子どもたちに伝える必要があるのでしょうか？

それは、「私たち一人ひとりがかけがえのない存在として、神さまからいのちを与えられ、神さまの恵みのもとに生かされている」というメッセージを、人生を歩み始めた若い年齢で知ってほしいからです。子どもたちが「神さまの愛と恵み」のもとで育てられることで、自分自身が大切な存在であると受け入れ、喜びと感謝をもって、これからの長い人生に立ち向かっていってほしいからです。子どもたちが生きるための基礎を培い、共に生きる社会と平和な世界をつくる人間として育つためには、イエスさまを通して、目に見えない存在である神さまを身近に感じる事が重要です。感謝の祈り、友だちや他の人びとを思う祈り、仲直りや赦しを求める祈りなどは、子どもたちの心に安定や喜びを与え、イエスさまと共に毎日を歩もうという勇気を芽生えさせます。

まずは、私たち大人が、神さまによって受け入れられていることを実感し、喜びと感謝を持って生き、「神さまに支えられた生き方」を示さなければなりません。教会で私たち大人が、子どもたちと共に祈り、賛美し、礼拝を守り、聖書に親しむことによって、子どもたちの中に神さまへの信頼感と、イエスさまと共に歩む力が養われるのです。それが、「心を尽くし、魂を尽くし、力を尽くして主を愛する者として生きること、また自分自身を愛するように隣人を愛すること」を願っておられる神さまへの信仰につながるのです。(キッズフェスティバル実行委員会)

参考：「新キリスト教保育指針」 社団法人キリスト教保育連盟

【編集後記】

「キッズフェスティバルからの手紙 No.2」をお届けします。夏休みに子どもたちと「ヨナのお話」や「せいしょクイズ」を楽しんでいただけると嬉しいです。大人の方には、ぜひ最終ページの「教会につながる皆さんへ」をご一読いただき、教会や子どもたちの未来について、一緒に考えることができますようにと祈っています。「ヨナ」のお話をご執筆くださった京都教区藤原健久司祭に心から感謝いたします。クイズは、芦屋聖マルコ教会の方々が作成してくださいました。

【企画・発行】

大阪教区宣教局生涯学習委員会委員長：司祭ジョイ千松清美、
キッズフェスティバル実行委員会

【お問合せ】

斎藤みち（子どもプロジェクト担当／石橋聖トマス教会信徒）

【せいしょクイズの答え】

せいしょ 〈聖書なぞなぞクイズ〉

1. パン
2. イヌ
3. ラクダ
4. 天国

〈わたしはだれ？〉

2. 羊飼いたち

